

第3回宮城マスター検定2級試験(平成20年12月実施)解答と解説

	正解	解説
1	1 紙	「どんと祭」は県内各地の神社で行われますが、なかでも大崎八幡宮のどんと祭は裸参りが行われ、全国的に有名です。参加者はサラシに白足袋、わらじ、口に含み紙をくわえ、右手に鐘、左手に提灯を持って市内を練り歩きます。 http://www.miyagi-kankou.or.jp/osusume1/index_all.htm (宮城まるごと探訪)
2	4 島田飴まつり	島田飴まつりは、島田髷の形をした飴を貰うと良縁に恵まれるといわれる祭りです。島田飴は、この祭りの日にだけ売られます。 http://www.miyagi-kankou.or.jp/osusume1/index_all.htm (宮城まるごと探訪)
3	4 酒のつまみ	「おすばで」は、この地方のことばで酒のつまみ、酒の肴(さかな)のことです。今年も12月29日(月)に志津川魚市場を会場に開催され、志津川湾で獲れた新鮮な魚介類や農産物など、南三陸の特産品が販売されます。 http://www.m-kankou.jp/topics/index.php?id=32 (南三陸町観光協会)
4	1 月浜のえんずのわり	「14日夜に行う『鳥追い』では、地区の家々を回り、縁側や玄関先で『えんずのわり とうりょうば(意地の悪い鳥を追えば)』...」などと唱えながら松の棒で地面を突き、一年間の豊作や無病息災を祈願します。えんずのわりは、国の重要無形民俗文化財に指定されています。 http://www.pref.miyagi.jp/bunkazai/ (県文化財保護課)
5	2 梅	四寺廻廊の4つの寺は、松島の瑞巖寺、平泉の中尊寺と毛越寺、山寺の立石寺です。江戸時代に松尾芭蕉もこの4つの寺を巡り歩き、奥の細道を残しました。芭蕉気分でそれぞれの御朱印を集めながら4寺を巡礼するのも一興です。 http://www.miyagi-kankou.or.jp/osusume1/index_all.htm (宮城まるごと探訪)
6	3 透かし橋	透橋は橋桁の間が空いており、上から下の波が透かして見えるので透橋といわれます。昔は松の丸太だけの橋でとても不便であったために、板を使用して作られたといわれています。 http://www.town.matsushima.miyagi.jp/top02.html (松島町)
7	1 資福寺	北山五山は、東昌寺、覚範寺、光明寺、資福寺、満勝寺のことを言います。それぞれが伊達家の菩提寺になっています。現在、満勝寺が北山から移転したため、輪王寺を加えて、北山五山と称することもあります。 http://www.city.sendai.jp/kikaku/tyousei/matishigen/data/hkoak/hkoak006/index.html (仙台市)
8	3 横山不動尊(大徳寺)	「横山不動」の名で広く信仰を集めているこの不動明王は、一般に丈六といわれる巨像で、平安時代にさかのぼる数少ない不動明王の大作として貴重なものです。 http://www.pref.miyagi.jp/bunkazai/ (県文化財保護課)
9	2 金華山黄金山神社	黄金山神社のある金華山は、千疊敷など雄大な景観が広がり、島内はブナやモミの原生林に覆われ、野生の猿や鹿が生息しています。毎年10月第一、第二日曜日は鹿の角切りの神事が行われます。 http://www.pref.miyagi.jp/kankou/nature_walk/c28.htm (みやぎ観光ナビ)
10	1 青葉神社	青葉神社は、明治7年に仙台市青葉区北山に移転しました。当時、青葉神社の例祭は「青葉祭り」とも呼ばれていました。現在の「仙台・青葉まつり」でも、青葉神社を出発した神輿が本まつりパレードに加わっています。 http://www.aoba-matsuri.com/index.html (仙台青葉まつり)
11	1 麴屋コレクション	伊達家の御用商人として栄えた麴屋は、山本周五郎の「樅の木は残った」に登場する麴屋又左工門の家です。麴屋は、大正年間まで味噌の醸造、販売をしていました。 http://www.miyagi-kankou.or.jp/osusume1/index_all.htm (宮城まるごと探訪)
12	3 777メートル	栗原市の「細倉鉱山関連遺産」は、「有数の金属供給源として近代化に貢献した東北地方の鉱業の歩みを物語る近代化産業遺産群」として、近代化産業遺産群に認定されました。 http://www.kuriharacity.jp/kuriharacity/contents/kanko/learning/minep/main01.html (栗原市)
13	4 鎌先温泉	鎌先温泉は、鎌の先で湯を掘り当てたことからついた名前だと言いつづけています。「奥羽の薬湯」にふさわしい料理を作ろうと考え出された「薬膳鍋」が鎌先温泉の各旅館の共通メニューとして人気となっています。 http://www.miyagi-kankou.or.jp/osusume1/index_all.htm (宮城まるごと探訪)
14	1 陸中海岸	陸中海岸国立公園は、宮城、岩手両県の太平洋岸180kmにわたる地域で、リアス式海岸特有の入り組んだ海岸線が特徴です。宮城県内では、唐桑半島、気仙沼市大島、岩井崎と海岸美が続き、景勝のポイントが点在しています。 http://www.pref.miyagi.jp/sizenhogo/ (県自然保護課)
15	2 駒草平	駒草平は、西に蔵王連峰が迫り、東は奥羽山脈の山なみを越えて太平洋も一望できます。高山植物コマクサの群生地で、6月中旬から8月にかけて最盛期を迎えます。 http://www.zao-machi.com/meisvo/komakusa.html (蔵王町観光協会)
16	1 秋保温泉	秋保温泉は、開湯1400年以上の歴史をもち、有馬「道後」とともに「日本三御湯(みゆ)」の一つに数えられることもあります。各旅館の女将が仕込んだ「秋保福おみそ」を使った料理が好評です。 http://www.miyagi-kankou.or.jp/osusume1/index_all.htm (宮城まるごと探訪)
17	3 潟沼	潟沼は、硫黄の匂いの漂う噴火によってできた国内有数の強酸性のカルデラ湖で、強酸性のため、魚が棲んでいないことも特徴です。ボートや遊歩道があり、自然散策も楽しめます。 http://www.city.osaki.miyagi.jp/quest/kanko/shiseki/index.html (大崎市)
18	4 小田の浜海水浴場	大島は、気仙沼市から船で約25分。椿の花や海水浴、各種体験メニューが、四季を通じて楽しめます。島北部の亀山からは、全島が一望できます。 http://www.k-macs.ne.jp/oshimaho/ (大島観光協会)
19	4 大衡村	昭和万葉の森は、昭和30年に全国植樹祭の会場となった松林と、これに隣接する落葉広葉樹林とを合わせた区域に、昭和天皇御在位60年を記念して、万葉植物を主体とする森林公園を造成し、平成元年に開園しました。 http://www.pref.miyagi.jp/sizenhogo/ (県自然保護課)
20	1 巨釜	巨釜半造は、2つの名勝の総称です。前田浜の湾入部を境として北を巨釜、南を半造とよんでいます。特に巨釜海上の折石、八幡岩は古くから有名です。また、半造には鐘乳洞がみられます。 http://www.pref.miyagi.jp/bunkazai/ (県文化財保護課)
21	2 金成地域	栗原市金成の沢辺は、江戸時代の歌にも詠まれるなど、古くから蛸の名所です。一時期、排水の流入などでホテルがほとんど見られなくなりましたが、その後水路改修により、近年再びゲンジボタルが戻り始めました。ゲンジボタルは6月下旬から7月上旬にかけて鑑賞できます。 http://www.pref.miyagi.jp/bunkazai/ (県文化財保護課)
22	4 石ノ森章太郎	石ノ森章太郎は、宮城県登米市出身です。登米市には「石ノ森章太郎ふるさと記念館」、石巻市には「石ノ森萬画館」があり、それぞれ漫画家の石ノ森章太郎の世界を楽しむことができます。 http://www.city.tome.miyagi.jp/kinenkan/index1.htm (石ノ森章太郎ふるさと記念館) http://www.man-bow.com/manqa/index.html (石ノ森萬画館)
23	3 JR池袋駅	宮城のアンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」(愛称は「コ・コ・みやぎ」)は、JR池袋駅東口から徒歩2分。笹かまぼこ、宮城米などの販売コーナー、本場の味を楽しめる牛タン飲食コーナーの他、観光・情報コーナーでは宮城の情報が満載です。是非、お立ち寄りください。 http://www.miyagibussan.or.jp/cocomiyagi/index.shtml (宮城ふるさとプラザ)
24	4 みやぎ蔵王三十六景	「みやぎ蔵王」をメインにした36ヶ所のスポットが、新しい観光資源「みやぎ蔵王三十六景」と名付けられました。みやぎ蔵王三十六景のシンボルマークは、蔵王連峰から流れる水、空が三十六景につながる様、澄んだ空気と水が蔵王ブランドを形づくる様を表しています。 http://www.pref.miyagi.jp/oksgsin/topics/tokusyu-36kei/36kei-top.html (県大河原地方振興事務所)
25	2 こもれびの森	栗原市花山のこもれびの森は、スギなどの人工林のほかに、樹齢200年以上のブナやミズナラの天然林をはじめ、野生鳥獣も数多く生息する豊かな森林です。森林科学館は、森林や自然の正しい知識を身に付ける野外学習の場として、レクリエーションの場として利用できます。 http://www.pref.miyagi.jp/sizenhogo/sisetu/komorebi.htm (県自然保護課)

第3回宮城マスター検定2級試験(平成20年12月実施)解答と解説

	正解	解説
26	2 大崎八幡宮	仙台市観光シティーバス「るーぶる仙台」は、レトロ調の外観が特徴です。仙台城址や瑞鳳殿など、仙台市内の観光スポットを周ります。「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」期間中は、15分から20分間隔の特別運行となっています。 http://www.kotsu.city.sendai.jp/index.htm (仙台市交通局)
27	2 万石浦	JR石巻線は、女川 - 石巻 - 小牛田を結んでいます。沿線には、宮城県慶長使節船ミュージアム(サン・ファン館)やマリンバル女川などの施設があります。 http://www.marinepal.com/ (マリンバル女川) http://www.santiuan.or.jp/index.html (サン・ファン館)
28	1 定禅寺通	仙台市は、戦後、街並みを復興した際、主要な道路を碁盤目状に配しました。これらの街路では「仙台・青葉まつり」や「仙台七夕まつり」などのイベントが行われます。 http://www.city.sendai.jp/ (仙台市)
29	2 鳴子ダム	江合川に建設された鳴子ダムは、洪水に備えたり、田畑を潤したり、電気をおこしたり、たくさんの目的のためにつくられたダムです。昭和27年から工事が始まり、約6年かけて昭和32年10月に完成しました。 http://www.thr.mlit.go.jp/naruko/index.html (東北地方整備局鳴子ダム管理事務所)
30	4 山元町	宮城県南の海岸沿いに位置する山元町は、りんご生産量で県内トップクラスを誇ります。海岸沿いの道路は、ストロベリーラインと名付けられ、2~6月にはいちご狩りが楽しめます。毎年2月にはホッキ祭りが開催され、大勢の人々にぎわいます。 http://www.town.vamamoto.miyagi.jp/kankou/index.html (山元町)
31	1 第1金曜、土曜、日曜	県では、生産者、製造業者、流通・小売業者、外食事業者、消費者の皆様に、それぞれの立場で理解と協力をいただき、地産地消を県民全体の運動として盛り上げていくため、「食材王国みやぎ地産地消の日」を設定しました。 http://www.foodkingdom-miyagi.jp/info/chisanchisvounohi.html (食材王国みやぎ)
32	3 キャベツ	「気仙沼ホルモン」は、気仙沼市内の約10店舗のホルモン焼肉店で食べることができます。店舗の場所が一目でわかる「気仙沼ホルモン・食べ歩きマップ」が作成されています。 http://www.iitoko-miyagi.com/program.html (いitoko!みやぎ)
33	1 米味噌	味噌は原料から、米味噌、豆味噌、麦味噌に分けられます。仙台味噌は、大豆に米麹を加えた米味噌です。米味噌は、さらに色・味により、甘みそ(白・赤)、甘口みそ(淡色・赤)、辛口みそ(淡色・赤)に分類されます。 http://www.omiso.or.jp/modules/tinvd3/index.php?id=5 (宮城県味噌醤油工業協同組合)
34	2 大豆	宮城県は、米の産地としては全国的に有名ですが、大豆の生産も盛んで、北海道に次いで全国第2位の作付面積となっています。大豆にも、米と同じように品種がありますが、宮城県では「ミヤギシロメ」を始め「タンレイ」「きぬさやか」などの品種が作られています。 http://www.pref.miyagi.jp/noenkan/nousansyokuryou/daizuoukoku.pdf (県農業園芸環境課)
35	4 やまのしずく	「やまのしずく」の名称は、この品種を作付している七ヶ宿町の農家グループが名づけた。山間地の清冽(せいれつ)な水が育んだ良食味米の魅力を消費者に届けたいという想いが込められています。 http://www.pref.miyagi.jp/nosui/kisvhabpou/071204.pdf#search=やまのしずく%20ゆきむすび (県農産園芸環境課)
36	4 温麺	正解は温麺ですが、白石温麺(しろいしうめん)として知られています。小麦粉と塩と水を使ってつくられる白石温麺。温麺は、元禄時代に鈴木浅右衛門という人が胃の弱い父親のためにつくったことに由来すると言われていて、その長さは約9cmと短く、とても食べやすくなっています。 http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/welcome/present/001.html (白石市)
37	2 ささら飴	仙台駄菓子とは、南蛮人が伝えた南蛮菓子が起源という説と藩政時代に使われた糶(ほしいい)という保存食が元という説があります。ささら飴は、豊作祈願の神への奉納物としての青竹に、あめをさしたものです。お祭りや縁日には欠かせない駄菓子です。 http://www.foodkingdom-miyagi.jp/ (食材王国みやぎ)
38	1 小麦	「はっと」は、米の代用食でしたが、そのおいしさから、農家の米作りがあるそかになるのでは、と「はっと」を食べることを禁止(法度)するようになったのが名前の由来ともいわれています。 http://www.pref.miyagi.jp/et-tmsosin/tisin/hatto/hatto-top.htm (県東部地方振興事務所登米地域事務所)
39	3 そばだんご	栗原市の新名物「そばだんご」は、栗駒山麓のおいしいそばでつくります。そばだんごは、そば粉に水を加え、泡だて機でよくかき混ぜて空気を十分入れ、焦げないように生地をかきまぜながら鍋を火にかけて、だんご状に固めたもので、フワッとした食感が特徴です。 http://www.iitoko-miyagi.com/program/080603.html (いitoko!みやぎ)
40	3 さば	金華さばは、石巻魚市場に水揚げされたさばのうち、一定の基準をクリアしたものです。かつお、さば、銀ザケが金華ブランドとしてステッカーを貼って出荷され、そのおいしさを全国にアピールしています。 http://www.city.ishinomaki.lg.jp/kankou/sanvou/kankou/i-kankou.jp (石巻市)
41	4 鳴子温泉	女将のおもてなし弁当は、JR仙台駅ヤリゾットみのりの車内(土曜・休日の下りのみ)などで購入できます。「仙台・宮城DC」期間中は、秋保温泉編、松島編、鳴子温泉編、と3種類が同時にお店に並びます。 http://www.nre.co.jp/bento/index2.htm (日本レストランエンタプライズ)
42	2 鳴子漆器	鳴子漆器は、1624~1644年(江戸寛永年間)頃、すでに創始されていたと伝えられ、岩出山藩3代城主伊達弾正敏親が、塗師と蒔絵師を京都に派遣し、修行させ、鳴子漆器の振興を図ったとされています。 http://www.tohoku.meti.go.jp/cvusvo/densan-ver3/html/item/miyagi_03.htm (東北経済産業局)
43	3 切込焼	切込焼の創始については確たる文献がありませんが、1844~1860年ごろに全盛だったと伝えられています。切込焼は、染付けが主で白磁、瑠璃、鉄砂、三彩などがあります。 http://www.pref.miyagi.jp/shinsan/chusho/dentoukougei/11kirigome.htm (県新産業振興課)
44	1 松川だるま	仙台張子の主流となっている松川だるまは、着色と表情が統一された工芸品で、縁起物として親しまれています。他に、黒面、張子玩具などの製品があります。 http://www.pref.miyagi.jp/shinsan/chusho/dento.htm (県新産業振興課)
45	4 せんだいメディアテーク	せんだいメディアテークは、定禅寺通に面した建物です。図書館やギャラリー、スタジオなどがあり、仙台市の美術や映像文化の活動拠点となっています。また、1年を通じて、さまざまなイベントが催されています。 http://www.smt.city.sendai.jp/ (せんだいメディアテーク)
46	1 観瀾亭	「観瀾」とは、さざ波を観るという意味です。観瀾亭では、お茶(お菓子付)をいただきながら松島らしい景色を楽しむことができます。 http://www.town.matsushima.miyagi.jp/top02.html (松島町)
47	2 里浜貝塚	里浜貝塚は、宮戸島の西部にあり、壮大な景色が望まれる大高森の西に位置します。標高20~40mの丘陵上にあり、東西800m、南北200mの規模を持ちます。近くの奥松島縄文村歴史資料館では、展示や縄文体験ができます。 http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/02_iomon/ (奥松島縄文村歴史資料館)
48	4 洲之内コレクション	「洲之内コレクション」は、画廊主でありコレクターの洲之内徹氏が収集した油彩画など146点です。宮城県美術館では、ほかに宮城県や東北地方にゆかりの作家やカンディンスキーなどの外国作品等が鑑賞できます。 http://www.pref.miyagi.jp/biyyutu/mmoa/ja/main/index.html (宮城県美術館)
49	3 多賀城碑	多賀城には律令時代、陸奥国の国府「多賀城」が置かれ、東北地方全体を治めていました。多賀城碑は、鎮守府將軍だった藤原惠美朝臣朝かり(ふじわらのえみのあそんあさかり)が、多賀城を修造したことを記念した碑で、壺の碑とも呼ばれます。 http://www.city.taigaio.miyagi.jp/monosiri/sito/profile/mo-si-or-aramasi.html (多賀城市)
50	3 10兆円	「宮城の将来ビジョン」では、「富県共創活力とやすらぎの邦(くに)づくり」を理念とし、その実現に向けて「富県宮城の実現~県内総生産10兆円への挑戦~」を掲げています。これは現在、約8.5兆円の県内総生産を平成28年度には10兆円以上にするという目標です。 http://www.pref.miyagi.jp/fukensui/ (県富県宮城推進室)